

Service News [サービス・ニュース]

読みたい順予約  
をご存じですか?

上下巻やシリーズものなど続きものを予約したいけれど、後の巻が先に届いてしまうと困る…。このような場合には、「読みたい順予約」をご利用ください。

上下巻の場合、優先順位を上巻は1、下巻は2とすると、上巻が先に準備され、お客様の取り寄せたい順番で本をご用意いたします。読みたい順予約は、ホームページもしくはカウンターでお申し込みすることができます。

■詳しい手順は、こちらでご確認いただけます。  
千代田区立図書館ホームページ  
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp>  
ご利用案内 ▶▶▶ 予約する ▶▶▶ 読みたい順予約の方法  
※通常予約で入力した本を後から「読みたい順予約」に変更することも可能です。

日比谷カレッジ報告

危機を乗り越えるための「情動的備え」について学ぼう

講師：島崎 敬  
（国立研究開発法人防災科学技術研究所特別研究員）

関東地方直撃の台風の後ということもあり、危機管理への関心が高まる中での開催となりました。ハザードやリスクをどう評価し、どう行動すべきか、様々な分野から実際に基づいてお話いただきました。個人や組織として目的を共有することの重要性や、優先されるのは「生き延びること」であるなど多くを学びました。「生活に役立てたい」「自分なりに理解しなおして家族と話し合いたい」等の感想をいただきました。

8/24 (水)

10月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン
- 「お江戸ネットワーク」(～2017/1/13) NEW!  
自動車やインターネットの無かった江戸時代、人々は街道や橋、水路などの交通網を整備することによって、物流や情報網を発達させてきました。現代へとつながる江戸のネットワークについて展示します。
- 特別展「江戸からたどるマンガの旅」NEW!  
～鳥羽絵・ポンチ・漫画～関連展示(三角台～11/16)
- 2F ホール
- 日比谷カレッジ 開館5周年記念講演会(～11/20) NEW!  
「再読の愉しみ」関連展示  
「野波健蔵さんと未来を読む ドローンが変える社会」関連展示  
「千代田区生きものさがし2016」(～10/31)
- 3F グリーンゾーン
- 「Out Door」(～10/14)  
今年新たに祝日となった8月11日の山の日や10月14日の鉄道の日を焦点をあて、「自分の世界を広げてみませんか?」をテーマに様々なアウトドアに親しむための展示を行っています。

ZONE PICK UP! 3F ブルーゾーン  
【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

「家族ってなに?」  
～12/16(金)

「家族」という言葉は一般に配偶関係や血縁関係によって結ばれた集団を指しますが、現代の家族の形は様々です。そこで辞書に記載されている「家族」の定義を踏まえ、「フィクションの家族模様」「現代の家族の形・家族の問題」「家族の記録」「著名な家族」「ロイヤルファミリー」というテーマから、家族とはなにかを考えてみませんか?

『father』  
金川 晋吾 青幻舎 / 2016

『浅田家』  
浅田 政志 赤々舎 / 2008

「家族の記録」よりオススメ本

レポートします! 専門図書館への入口講座 第6回

ビジネスにも活用する雑誌さまざま・雑誌専門図書館を使いこなす  
—大宅壮一文庫— 講師：嶋志田 浩

8/30 (火)

講座では大宅壮一文庫の成り立ちや、雑誌記事索引の作成にまつわるお話、そしてWeb OYA-bunkoを使った雑誌記事の検索のコツを具体例を挙げながら教えていただきました。参加者の皆様も集中して聴き入っていて、あっという間に過ぎた一時間となりました。「本は読むものではなく、引くものだ」と言った大宅壮一の思想が受け継がれた雑誌専門図書館。その魅力を存分に知ることができました。

わたしの一冊  
『寺田寅彦随筆集』改訂第1巻(5巻)

寺田寅彦 著 小宮豊隆 編

地球物理学者にして夏目漱石の高弟。津波の研究や関東大震災時の風向きと火災状況を調べたり、金平糖の角の考察や満員電車の観察から混雑度について解き明かしたり。そんな右脳と左脳が均等に発達した元東大教授の随筆集です。何気ない日常の営みを科学の目で分解しその法則性を実証された時、思わず眼から鱗。出合ったのは40年も前。花鳥風月の侘び寂が物理学的考察によって一層普遍的に感じられ、新鮮な感動を覚えたものです。

岩波書店 / 1992年

芸術を愛した世界的物理学者が二十代から最晩年の五十代後半まで書き綴った随筆より選ばれた百余篇。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別展  
江戸からたどるマンガの旅  
鳥羽絵・ポンチ・漫画

江戸の戯画から始まり、昭和初期の漫画雑誌まで、前後期展示合わせて約200点により、日本マンガの足跡を紹介いたします。歌川国芳、河鍋曉斎などの人気浮世絵師の作品も登場。それぞれの時代の作品から、現代マンガにも通じる多彩な表現・技法をお楽しみ下さい。

Manga Journey  
Traces From Edo

《本展のみどころ》

- ◎江戸の出版～「鳥羽絵」本と鳥羽絵スタイル～
- ◎江戸のヒットメーカー・歌川国芳と風刺画
- ◎マンガ表現の源流～江戸戯画で多用された表現
- ◎河鍋曉斎の『狂斎百図』
- ◎明治～最後の戯画錦絵の時代～
- ◎雑誌と漫画家の時代～明治・大正・昭和～ など

◎会期:  
2016年9月17日(土)～11月16日(水)  
※休館日 9月19日(月・祝)、10月17日(月)

▶前期: 9月17日(土)～10月16日(日)  
▶後期: 10月18日(火)～11月16日(水)  
※前後期にて、一部作品について展示替えあり。

◎観覧時間: 平日10:00～20:00、土曜10:00～19:00、日祝10:00～17:00(入室は閉室の30分前まで)

◎会場: 千代田区立日比谷図書文化館1階特別展示室  
◎観覧料: 一般300円、大学・高校生200円  
千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。

◎主催: 千代田区立日比谷図書文化館  
◎特別協力: 京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター  
◎監修: 清水 勲(漫画・風刺画史研究者、京都精華大学国際マンガ研究センター研究顧問)

《関連イベント》  
《講演会》漫画300年史と「吹出し」表現の歴史  
講師: 清水 勲(本展監修者、漫画・風刺画史研究者、京都精華大学国際マンガ研究センター研究顧問)

■日時: 10月10日(月・祝) 13:00～14:30(12:30開場)  
■場所: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
■定員: 200名(事前申込順、定員になり次第締切) ■参加費: 500円  
申し込み方法: 電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、または来館のうえ1階受付にて講座名、お名前(よみがな)、電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2016年 10月							2016年 11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館  
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>

access

都営地下鉄  
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
東京メトロ  
●丸ノ内線  
●日比谷線  
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分  
●千代田線  
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分  
JR「新橋駅」徒歩10分

※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

# 10・11月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

**10/3 (月)** **市民参加の時代のアート**  
**ー鑑賞する芸術から経験する芸術へー**  
 講師：毛利 嘉孝(東京藝術大学大学院教授(社会学))

21世紀に入りアートは大きく変化しています。美術館の枠を越え、様々な市民を巻き込みながらアーティストと共に作品を作り上げていく参加型の芸術が増えてきました。最近の国内外のアートフェスティバルやプロジェクトを紹介しながら、その魅力や面白さと問題点をお話します。

■ 日時：10月3日(月) 19:00～20:45(18:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



**10/5 (水)** **シェイクスピア没後400年記念**  
**『ヴェニスの商人』の謎を解く**  
**ーシェイクスピアと1596年**  
 講師：門野 泉(清泉女子大学名誉教授・清泉女子大学人文科学研究所客員所員)

「三つの箱選び」や「肉一ポンド」のエピソードで有名な『ヴェニスの商人』は、謎でいっぱい作品です。創作年1596年前後の出来事をヒントに、謎を解いてみましょう。

■ 日時：10月5日(水) 19:00～21:00(18:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



ロンドン・ライシウム劇場上演 ヘンリー・アーヴィング扮するシャイロック (所蔵：V&A Museum Theatre Collections)

**10/6 (木)** **江戸歴史講座第40回 EDO ART EXPO関連講座**  
**江戸の装い ー女の美しさ、男の粋**  
 講師：村田 孝子(ボラ文化研究所シニア研究員)

江戸時代の女性たちの装いは、身分や職業などで違い、中でも、浮世絵などに見られる遊女の装いは、一般の女性たちの憧れでした。また、男性の装いにも、こだわりを見せたお洒落がありました。どのような様子だったか、講師と一緒に探ります。

■ 日時：10月6日(木) 14:00～15:30(13:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名  
 ■ 参加費：1000円(千代田区民 500円)



江戸名所百人美女 霞ヶ関 歌川豊国 安政4年 ボラ文化研究所蔵

**10/6 (木)** **米と日本の食文化**  
 講師：原田 信男(国士舘大学教授)

私たちになじみ深い米という食べ物、どのような特色をもち、どのような食文化を作り上げてきたのかを麦との対比から考え、その上で、日本の食文化の特質を明らかにしつつ、その歴史について検討します。和食の成立や魚食・出し汁・調味料といった日本独自の食文化についても考えます。

■ 日時：10月6日(木) 19:00～20:45(18:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

**10/8 (土)** **演劇への入口講座 第7回**  
**小鼓で楽しむ能 ～能の魅力**  
 講師：大倉 源次郎(能楽小鼓方大倉流十六世宗家) 田村民子(「伝統芸能の道具ラボ」主宰)

小鼓は、能の音楽に欠かせない大事な楽器。小鼓の第一人者が実演を交えながら、小鼓をおして能の楽しみ方のポイントを解説します。

■ 日時：10月8日(土) 14:00～16:00(13:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民 500円)



**10/9 (日)** **バレエ史って面白い！～バレエの誕生から現在まで～**  
 講師：芳賀 直子(舞踊史研究家)

華やかな印象があるバレエも、歴史と聞くと「コムズカシイ」と思うかもしれませんが、バレエ史は楽しいものです。科学技術、食といった関わりも見えてくる、その歩みを、辿っていきます。

■ 日時：10月9日(日) 14:00～16:00(13:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



バクスト「眠れる森の美女」デザイン集より画像提供：Naoko Haga Collection

**10/12 (水)** **星とふれあう・月**  
 講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

月は、特に日本人にとってなじみの深い天体と言えるでしょう。天文学はもちろんのこと、暦をはじめとする生活習慣に影響を与え、芸術、文学の世界にまで登場する、月。今宵、月を更に深く学びます。

■ 日時：10月12日(水) 19:00～21:00(18:30開場)  
 ■ 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■ 定員：60名 ■ 参加費：1000円



**10/15 (土) 他** **古都蘇州と庭園文化ーその魅力を探る(全2回)**  
 講師：吉河 功(日本庭園研究会会長)

中国屈指の文化芸術都市、また庭園都市として名高い水の都ー蘇州。第1回ではその街の魅力と名園成立の背景を探り、第2回では世界文化遺産に登録されている9名園を画像で紹介。その造形特色を解説する。

■ 第1回「蘇州はなぜ中国一の庭園都市になったのかーその歴史と文化」  
 日時：10月15日(土) 14:00～15:30(13:30開場)  
 ■ 第2回「世界文化遺産登録の9名園ー美しさの秘密」  
 日時：10月22日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

両日とも ■ 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名  
 ■ 参加費：2000円(全2回)※各回でのお申し込みは出来ません。



拙政園(世界文化遺産)

**10/19 (水)** **時をこえる仏像 ～どのように壊れ、修復されるのか～**  
 講師：飯泉 太子宗(古仏修復工房 主宰)

数百年の時を経て私たちが目にする仏像の多くは木造であるが故に壊れ、そして修復師たちによって修復されてきました。材質や構造から仏像を見つめると、外見から眺める表情や御姿とは違った面が浮かび上がります。材質や構造を中心に、仏像がどのように壊れていくのか、また、像の胎内や納入品についてなど、修復者ならではの立場からお話します。

■ 日時：10月19日(水) 14:00～15:30(13:30開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円



大師堂 阿彌陀如来立像 (左：修復前/右：修復後)

**10/21 (金)** **■ 展覧会への入口講座**  
 東京国立博物館×日比谷図書文化館  
**VOL.20 禅と茶の湯 ー茶湯道具の変遷とその魅力について**  
 講師：三笠 景子(東京国立博物館 東洋室 主任研究員)

鎌倉から室町時代に禅院や最高権力者である足利將軍家で行なわれた喫茶の風景を、現存する貴重な唐物からたどります。さらに桃山期の茶人であり、天下人織田信長の弟として知られる織田有楽(1547～1621)が所持した道具とその魅力についてお話しします。

■ 日時：10月21日(金) 19:00～20:30(18:30開場)



青磁輪花茶碗 銘「鏡」  
 龍泉窯 中国・南宋時代13世紀  
 愛知・マスコプロ美術館蔵

**11/1 (火)** **三菱一号館美術館×日比谷図書文化館**  
**VOL.21「拜啓 ルノワール先生」展**  
**梅原龍三郎先生を水先案内人にした、藝術世界探訪**  
 講師：安井 裕雄(三菱一号館美術館 学芸グループ 副グループ長)

1909年2月、訪問の約束もなく印象派の巨匠ルノワールの家を訪れて弟子入りした梅原龍三郎。当時弱冠二十歳、京都の悉皆屋という呉服をプロデュースする店で育ち、卓越したセンスをパリで磨いた洋画壇の重鎮の眼を借りて、豊穡なる20世紀美術の世界を探訪します。

■ 日時：11月1日(火) 19:00～20:45(18:30開場)  
 両日とも ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名  
 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)



ビエール=オーギュスト・ルノワール  
 《パリの審判》1908年、  
 油彩/カンヴァス、  
 三菱一号館美術館寄託

**10/24 (月)** **平家物語、その滅びの美学(全3回)**  
**第2回「平家物語と能」**  
 講師：林 望(作家) ゲスト：坂 真太郎(観世流能楽師)

日本を代表する伝統芸能の能楽に、もっとも影響を与えたのは『平家物語』であった。現行の能のなかから、平家物語に取材するものをいくつか選んで、能作者がどのようにこの物語を扱ったか、世阿弥の考えたところはどうかであったか、などを含めて、実際の能役者である坂真太郎師をゲストに迎えて、『謹訳平家物語』のまた一味ちがった朗読などを含めて、語り合ってみよう。(主催：上廣倫理財団)

■ 日時：10月24日(月) 18:30～20:30(18:00開場)  
 ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名  
 ■ 参加費：500円(千代田区民・学生無料)※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



坂 真太郎

**10/28 (金)** **日比谷オペラ塾・特別講演会**  
**茂木健一郎、ワーグナーとニーチェを語る。**  
 講師：茂木 健一郎(脳科学者)

脳科学者として著名な茂木健一郎氏の熱烈なワーグナーへの思いとニーチェへの理解。なぜ、ワーグナーとニーチェは、惹かれあいそして反発したのか？その謎に迫ります。(主催：フェニーチェ劇場友の会)

■ 日時：10月28日(金) 19:00～20:30(18:30開場) ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員：200名 ■ 参加費：2000円



**10/29 (土)** **HIBIYAイノベーション・キャンパス2016「ワークショップ【実践編】**  
**イノベティブ思考のイタレーションを体感する**  
 講師：成田 好孝(慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員) 広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 研究員) 渡辺 今日子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

イノベティブ思考を活用したワークでは、反復的なプロセスを進めながら、ソリューションに向けてアイデアを育てていきます。今回はこの反復的なプロセスである「イタレーション」を体感し、イノベティブ思考のワークの進め方を実践的に学びます。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)

■ 日時：10月29日(土) 13:00～17:00(12:30開場)  
 ■ 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：40名 ■ 参加費：3000円



**日比谷図書文化館開館5周年記念講演会**

**11/2 (水)** **野波健蔵さんと未来を読む**  
**ドローンが変える社会**  
 講師：野波 健蔵(株式会社自律制御システム研究所 代表取締役) ナビゲーター：志水 正敏(日本科学未来館 科学コミュニケーター)

小型無人機「ドローン」の登場は空の産業革命として、世界的に注目を集めています。ドローンとは何か、何ができるのか、技術や法整備、利活用やその可能性について、ドローン開発の第一人者にお話しいただきます。私たちの暮らしや社会はどう変わるのか、未来を読むための2時間です。

■ 日時：11月2日(水) 19:00～21:00(18:30開場)



**11/5 (土)** **再読の愉しみ**  
 講師：池内 紀(ドイツ文学者、エッセイスト)

幼い頃に読んだ名作を、大人になって読んでみる。青年のときに感動した作品を、老年の身で再読する。かつての自分と今の自分…。過去に感動した作品の再読は、作品の未知の部分や未知の自分の発見をもたらす。そんな再読の愉しみを読書の達人が紹介します。

■ 日時：11月5日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

▶両日とも ■ 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■ 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)



**古文書塾でらこや10月期本講座開講**

- ◆古文書の魅力に会おう【入門コース】  
筆字のくずし字を初歩から学べます。
- ◆古文書から見えてくる多様な世界に感動する【本科コース】  
くずし字の史料を読み解いて歴史の真実に迫ります。
- ◆歴史の躍動を感じる【特別講座】  
江戸時代の多様な資・史料を用いて、歴史の具体像を楽しみます。

	講座名	曜日・時間	初回日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(火) 10:30～	10/4
		(火) 13:30～	10/4
		(木) 13:30～	10/13
		(金) 13:30～	10/14
		(金) 18:30～	10/14
本科コース 120分	いろはの次 ー 大江戸大変	(月) 18:30～	10/3
	いろはの次 ー 江戸時代の海外知識	(金) 10:30～	10/14
	文人画と碑文 ー 掛軸を読む	(月) 18:30～	10/3
	武家文書を読む ー 幕府崩壊事情	(水) 13:30～	10/5
	(翻字者育成講座)国文学研究資料館蔵「源氏物語 若紫」を読む	(木) 18:30～	10/13
特別講座 90分	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30～	10/7
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30～	10/8
	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	10/11
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	10/11
	豪商 三井の家法 ー二つの家法にみる経営の模索	(水) 19:00～	10/12
江戸を楽しむ ー 続・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	10/6	
絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	10/8	

■ 期間：10月3日(月)～順次開講 ■ 会場：4階 セミナールーム(会議室) ■ 定員：23名(申込順) ■ 参加費：【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6ヶ月分。別途資料代1,000円)【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)※翻字者育成講座には別途テキスト 国文学研究資料館蔵「源氏物語 若紫」が必要です。(当館でもご購入頂けます) ※でらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。 ■ お問合せ：電話(03-3502-3340)

**特別研究室 ミニ通信**

◆特別研究室企画展示◆10月18日(火)～12月28日(水)  
**「国際人」としての生き方～大航海時代から昭和戦前まで～**  
 海外から多くの人々が日本を訪れるようになった今、内田嘉吉文庫の蔵書に登場する古今東西、さまざまな時代の「国際人」を紹介し、図書展示を通して「国際人」とは何かについて改めて考えます。

高峰 讓吉(塩原又策編「高峰博士」/1926年)



◆ポモージュ広報室より◆

「食欲の秋」「読書の秋」…「秋」にも色々ありますが、今年は「芸術の秋」はいかがでしょう。美術館などで作品を鑑賞するだけでなく、最近では自ら参加してアート体験するアートフェスティバルも増えてきました。10月3日(月)「市民参加の時代のアート」では、今までは違うアートの形について紹介します。また、館内では特別展や図書フロアでもアートに関する情報が満載。今秋は日比谷図書文化館で「芸術」を深めてみては。